

青枯病に強い養液土耕栽培

農業総合研究所では、土壌病害回避を目的とする養液土耕栽培に取り組んでいます。本年度は青枯病多発ハウスにおいて、トマト・万願寺トウガラシの栽培を行っています。

対照区では5月末までにトマトのほぼ全株が青枯病により萎凋・枯死し、万願寺トウガラシでも青枯病の初発を確認しましたが、根域を制限した養液土耕区では萎凋症状は認められず、順調に生育しています。引き続き発病状況、生産性の調査を進める予定です。



青枯病発生状況（手前：対照区、奥：養液土耕区）